

JSCE2020-2024 防災プロジェクト紹介ウェビナーにパネリストとして参加しました (2022/9/13)

テーマ：複合・巨大災害の全体像の解明と横断的対応体制の提案
会場：オンライン

2022年9月12日から16日にかけて、令和4年度土木学会全国大会が開催されました。期間中に行われたJSCE2020-2024防災プロジェクトに関するウェビナー（地震工学委員会JSCE2020防災プロジェクト推進小委員会主催）に、当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）がパネリストとして参加し、目黒公郎特任教授（客員）（同分野・東京大学生産技術研究所）が司会を務めました。

当プロジェクトは、国難災害になりうる首都直下地震や南海トラフ巨大地震による災害と激甚化する複合自然災害から、生命と財産、生活環境と社会機能、国土を護り維持すると共に、国の不測事態を回避する実現可能な方策の提案を目的としています。

パネルディスカッションでは、電力・通信・水道・ライフライン・リスクマネジメントなど各分野の専門家が、多視点から巨大災害の全体像を解明し、対策が不十分な課題について議論しました。村尾教授は、より具体的な想定に基づく事前対策による被害抑止策の推進に加え、被災した場合の被害状況を見込んでのバックキャスト的対策の必要性について話しました。



第2部：パネリスト一覧（敬称略・順不同）

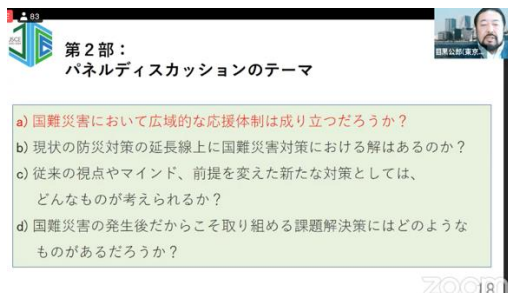
朱牟田 善治（神奈川大学）
 當麻 純一（地震予知総合研究振興会）
 神原 咲子（神戸市看護大学）
 香西 裕介（NTT東日本）
 宮島 昌克（金沢大学 名誉教授）
 平山 修久（名古屋大学）
 秦 康範（山梨大学）
 大原 美保（土木研究所）
 庄司 学（筑波大学）
 村尾 修（東北大学）

司会：目黒 公郎（東京大学）

パネリスト一覧（敬称略・順不同）



パネリスト



パネルディスカッションのテーマ

- 国難災害において広域的な応援体制は成り立つだろうか？
- 現状の防災対策の延長線上に国難災害対策における解はあるのか？
- 従来の視点やマインド、前提を変えた新たな対策としては、どんなものが考えられるか？
- 国難災害の発生後だからこそ取り組める課題解決にはどのようなものがあるだろうか？



ウェビナーのテーマ

JSCE2020防災プロジェクトの紹介：
 複合・巨大災害の全体像の解明と
 横断的対応体制の提案

ご清聴、ありがとうございました。